

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	470	703	百日咳	0	0
RSウイルス感染症	10	8	ヘルパンギーナ	6	5
咽頭結膜熱	15	12	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	73	90
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	51	60	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	708	662	流行性角結膜炎 (はやり目)	12	9
水痘	124	126	細菌性髄膜炎	0	1
手足口病	6	1	無菌性髄膜炎	0	1
伝染性紅斑 (りんご病)	22	23	マイコプラズマ肺炎	2	2
突発性発しん	40	28	クラミジア肺炎	2	0

感染性胃腸炎
インフルエンザ
水痘

報告が多い
感染症

- 感染性胃腸炎は、報告数708件(前週報告数662件)と増加。
地区別では、山鹿、天草、菊池に多く報告がみられる。
年齢別では、1歳の166件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- インフルエンザは、報告数470件(前週報告数703件)と減少。
地区別では、人吉、菊池、宇城に多く報告がみられる。
年齢別では、10~14歳の58件を最多に、幅広い年齢層からの報告である。
- 水痘は、報告数124件(前週報告数126件)とわずかに減少。
地区別では、人吉、阿蘇、山鹿に報告が多くみられる。
年齢別では、1歳の35件を最多に、15~19歳以下からの報告である。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血 性連鎖球 菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギーナ	流行性 耳下腺炎	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミ ジア肺炎	
熊本市保健所	169	3	5	24	213	52	5	8	19		1	22		12				2	2
山鹿保健所	3				61	7		4	1			8	*	*					
菊池保健所	78	2	5	8	95	13		4	2			10							
阿蘇保健所	7				3	7							*	*					
御船保健所	10				3								*	*					
八代保健所	47	3	2	4	34	11			2			9							
水俣保健所	5			1	11	5			3			4	*	*					
人吉保健所	71			5	54	12			3			5	*	*					
有明保健所	13		1	6	77	5		4	2			9							
宇城保健所	52	2	2	1	41	6		1	4			6							
天草保健所	15			2	116	6	1	1	4		5								
計	470	10	15	51	708	124	6	22	40	0	6	73	0	12	0	0		2	2

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	470	1	1	20	28	38	48	46	37	31	38	22	58	17	31	19	12	9	8	5	1	
小児科定点年齢	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	10	6		3	1																	
咽頭結膜熱	15		2	3	3	3	1	2				1										
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	51		1	2	4	6	10	5	6	9	4		4									
感染性胃腸炎	708	12	78	166	99	72	47	48	29	14	24	11	52	6	50							
水痘	124	2	10	35	20	21	14	10	4	2	3		1	2								
手足口病	6		1	4									1									
伝染性紅斑	22		1	1		3	3	4	6	1		2	1									
突発性発しん	40	2	26	12																		
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	6		4	1		1																
流行性耳下腺炎	73			4	6	13	10	11	11	4	11		2		1							
眼科定点年齢区分	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	12								1							2	3	1	2	1		2
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	0																					
マイコプラズマ肺炎	2			1	1																	
クラミジア肺炎	2		2																			

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- 感染性胃腸炎 : 山鹿・菊池・人吉
宇城・天草
- 伝染性紅斑 : 山鹿

感染性
胃腸炎

今週は先週に比べ増加しました。乳幼児から大人まで幅広い年齢層から見られています。この時期はノロウイルスを考えると感染性胃腸炎の対策をとることが必要です。ノロウイルスの感染力はきわめて強く、集団生活の場で流行を起こすことがありますので、医療機関や社会福祉施設、学校などでは、特に注意が必要です。家庭においても、注意が必要です。便やおう吐物を処理する際には、マスクや手袋、塩素系消毒剤などノロウイルスに対して必要な準備をしてから行いましょう。調理や食事の前、トイレの後などの手洗いをしっかり行い予防に努めましょう。

インフルエンザ



今週のインフルエンザ報告数は、先週より減少しました。菊池、人吉地域は引き続き注意レベルです。なお迅速キットによる診断情報は、450件中、A型75件、B型373件、型不明2件でした。隣県の宮崎県、大分県では、前週において、依然として多数報告されています。今後も発生状況に注意し、手洗い・うがいの励行、咳エチケットを守る等、感染防止に努めましょう。

